

ネパールなら高所トレッキングが費用的に行けそうなことに気づいてしまった。調べると5500m地点までならトレッキングとして到達可能だ。そこで、6000m,7000m,8000mへの登山のための偵察も兼ねて、サガルマータ国立公園(エベレスト街道)へのトレッキングを計画した。

<トレッキングまで>

成田からカトマンズまで途中、中国成都空港でトランジットしカトマンズ。カトマンズでハイエースを確保して、夜約10時間かかってラメチャップ空港着。ここまでは順調だった。

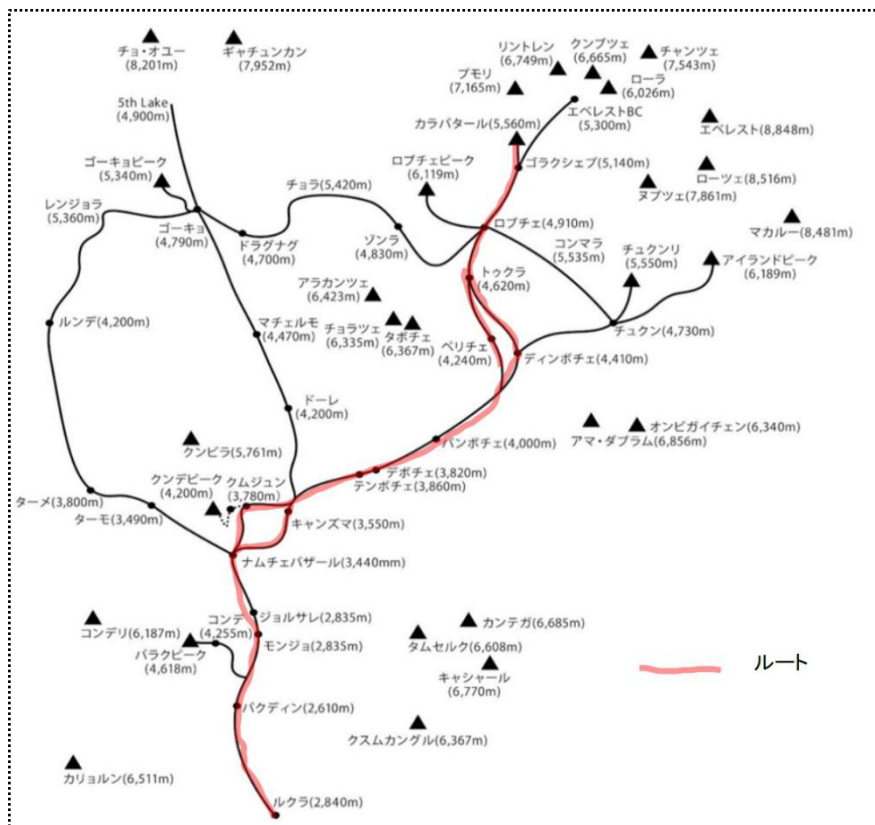
ラメチャップ空港では10月15日7:00発の飛行機でルクラへ飛ぶ予定が、天候不良のため飛ばないとのこと。そこから5日間飛行機は飛ばず、ラメチャップ6日目にしてやっとルクラへ到着することができた。

(なかなか飛ばない飛行機)



【コースタイム】 10月20日~10月30日 (11日間)

- Lukula 14:45 - Nurning 17:20
- Nurning 8:00 - Namche Bazar 16:00
- Namche Bazar 8:30 - Tenboche 16:20
- Tenboche 8:00 - Dingboche 15:00
- Dingboche - 4780m - Dingboche
- Dingboche 8:20 - Dughla 12:00
- Dughla 8:00 - GorakShep 14:15
- GorakShep 7:00 - Kala Patthar - Dughla 16:30
- Dughla 7:45 - Phungi Thenga 15:30
- Phungi Thenga 7:45 - Namche Bazar 10:45
- Namche Bazar 6:50 - Lukla 13:40



<トレッキング>

トレッキング開始が5日間遅れたため、計画を大幅に見直した。本来は、ルクラ~チュクン~コンマラ~カラパタール~ゴキョ~ルクラと二回の峠越えを計画していたが、断念。カラパタールへ登ることにより、自分たちの高度への適正を見極めることを第一目標とした。

〈ルクラ～ニューニン 2570m〉

トレッキングスタート。ルクラの街のはずれでトレッキング許可書と国立公園の入場料を支払った。各 3000 ルピー。ネパールのトレッキングルールが昨年から変わっており、ガイドが必須になった。ただしエベレスト街道は例外との話もあり、どうなるか心配していた。ガイド無しをチェックされるとしたらココなので、無事通過できてホットする。これで自分たちで判断しながら歩くことができる。

ルクラの街から出るとさっそくネパールのトレッキングらしい風景が広がる。ストゥーパ、マニ車、マニ石、馬の隊列、そして吊橋。ワクワクして歩いていると徐々に暗くなり、ニューニンで宿をとる。

(馬の隊列)



(ヒマラヤトレッキングルートらしい景色)



〈ニューニン～ナムチェバザール 3400m〉

トレッキング二日目。シェルパのふるさとと言われるナムチェバザールを目指す。川沿いを登ったり、下ったり、吊橋で渡ったり、また戻ったり。横から合流する沢の向こうにヒマラヤらしい山が見えてきた。タムセルク (6623m)だ。雪をまとった姿がカッコいい。

ナムチェバザールは川沿いから尾根筋を約 400m 登る。ナムチェバザールは誰でも行ける観光地のようなつもりで考えていたが、最後の登りが結構つらい。なめんなよナムチェ。

ナムチェバザールはホテルが立ち並ぶ大きな町。町の中心では現地の若者がバレーボールをしており、活気がある。大きなストゥーパ、水力で回るマニ車、多くの土産物屋、トレッキング用品店、おしゃれなカフェ。外国人トレッカーも多い。少し小高い場所にホテルを見つけ、宿とする。このホテルは当たりで、なんとシャワーから温水が出る。今回のネパールの旅で唯一の温水シャワー。ありがたい。

(右手にタムセルク)

夜、待望の星を見に行く。(そのために少し高いところにホテルをとった)ナムチェの街から西側に尾根を少し回り込んだ暗いところまで歩き、空を見あげる。すると満点の星空。白い雪の峰から天に立ち上がる天の川。日本では山に行っても簡単には見られない星空がそこにあった。



(マニ車)



(ストゥーパのある景色)



(温水シャワーの宿)



(ナムチェの星空)



〈ナムチェバザール～テンポチェ 3860m〉

トレッキング三日目。通常のエベレスト街道トレッキングの場合、ナムチェバザールで二泊し高度順応を行う事が多い。だが、我々は飛行機が飛ばず日程に余裕がなくなった。そこでナムチェでの高度順応をあきらめ、次に進む。言い訳として、日ごろ 1100m に住んでいるから通常より 1000m 高度順応する場所を高くしてもよいだろう。と勝手に考えた。

ナムチェバザールから少し登ると目の前にカッコいい山が見える。アマダブラム 6814m だ。そして直ぐに 3800m、富士山を越えた。と同時にエベレストが顔を出した。遠く山並みの向こう、さらにローチェから延びる尾根に邪魔されつつも頭一つ抜け出したエベレスト。初めて見た。もっと近くから見たい。

エベレストビューホテル、クムジュンを経由し、3300m の谷底まで一旦下る。そして、テンポチェまでの 560m の登り。つらい。まわりのトレッカーも息を切らせながらゆっくり登る。我々はポーターを使ってないため、すべての荷物を背負って登る。少し雨？ 雹？ がばらついたが、何とかまわりのトレッカーに負けないように登り切った。

テンポチェではすぐに宿をとり、部屋に落ち着く。実は、テンポチェに宿をとったのには理由があり、西側が開けているところで、彗星を見るのが目的だ。夜、夕食後すぐに星空を見に行く。宿から少し離れた暗いところで見た星空は素晴らしかった。西の空を見ると、天の川が右上がりになり立ち上がり、その右側に彗星が尾を引いた姿が良く見える。寒い中で星空に魅入っていた。

(アマダブラム)



(ローチェから延びる尾根の向こうにエベレスト)



(谷底の吊橋 プンギタンガ)



(テンボチェからの天の川と彗星)



〈テンボチェ〜ディンポチェ 4300m〉

トレッキング四日目。朝、4300mでの睡眠に少し不安があったが、大きな問題はなさそう。部屋からはエベレストが見える最高の景色。朝食を食べ、歩きだす。この日は、一旦尾根筋から下り、その後川に沿って登るコース。こまめに茶屋で水分補給しながら歩く。途中だだっ広い平原を歩く場面があり、少し寒かった。最後、400mほど標高を稼ぎ、4300mディンポチェ着。

(道端にヤク)



(ディンポチェの街)



〈ディンボチェにて高度順応日〉

トレッキング5日目。ディンボチェの夜、体が熱く、寝られなかった。熱があったのか?昨日の昼間体が冷え、熱が出たのか?それとも高山病か?毎日食べ過ぎでおなか張りすぎなのか?朝から体調が悪い。

そうは言っても予定通りナンガソンピーク 5083m へのピストンを目指す。歩き始めからつらく一歩一歩力を振り絞って歩く。しかし、4700m を越えたあたりから眠りながら歩いているような状況になり、休憩しても臥せって寝ている状態。苦しそうに登っていくと、通りかかったガイドに体調が悪そうなので、引き返した方がよいと言われる。自分でもとても無理だと判断し 4780m 引き返すことにする。引き返して部屋に帰ってベッドで寝る。

〈ディンボチェ〜トゥクラ 4600m〉

トレッキング6日目。今朝は体調良く起きられた。先に進めそうだ。本来ならロブチェまで進むと明日の行動が余裕になるが、体調を考え今日は途中のトゥクラまでの行動とする。朝、8:00 過ぎに出発したが、皆同じような時間に出発するので、周りはトレッカーだらけ。夏の富士山の様相でディンボチェの街から出る。

今日は広いカール地形の谷を延々と進むルート。なだらかな道をのんびり歩く。ただし、途中で街やカフェはない寂しい歩き。無理をしない行程のため、12時過ぎにはトゥクラに到着し、そこで昼食。早速宿を取り、のんびりする。

宿には日本語を少し話す女性が働いており、明日の予定を聞かれる。出来ればゴラクシェプへ行きたいと言うと、予約がないと部屋がない可能性が高いとのこと。すぐに電話して予約を取ってくれた。ネパールには日本語を話す方によく会う。多くの人は日本で働いたことがあるという。いろいろと助かった。

(ディンボチェから列をなして歩く)

(広い谷筋に添って標高を上げる)



〈トゥクラ〜ゴラクシェプ 5160m〉

トレッキング7日目。一度はあきらめかけたカラパタールだが、トゥクラの宿の方のおかげで、挑戦できることになった。体調は完全に戻って 5000m を目指す気力も十分。朝食ご出発。まずはロブチェを目指す。

ロブチェは登山基地といった様相の街で、登山隊のテントが張ってあったり、ここを起点のクライミングツアーが有ったりするようだ。今後のヒマラヤ山行への情報として以下を得た。

ロブチェの街〜ロブチェ山クライミング 700 ドル

チュクン〜アイランドピーク 700 ドル

考えておこう。

ロブチェからゴラクシェプは地図上では氷河の横をひたすら登るルートになっている。氷河がずっと見えているのかと思っていたが、氷河の周囲には少し高いモレーンがあり、その向こうにある氷河はトレッキングルートから

ずっと見えなかった。標高5000mを越え、辛い登りを耐えながら歩き、ゴラクシェプの少し手前でやっと氷河が一望できた。氷河の上に土が乗って地面のように見えるが、あちこちにクレパスがありとても歩けなさそうだ。動いては見えないが、自然のパワーを感じる。

やっとのことで、ゴラクシェプに到着。予約してもらった宿に着いて話をすると、ダイニングかテントで泊まれとのこと。何とかならないか？と言うと、隣の宿を紹介してくれた。何とか個室を確保し、宿泊。よかったよかった。

(氷河が見えた 上流側)



(氷河が見えた 下流側)



〈ゴラクシェプ〜カラパタール 5550m〜トゥクラ〉

トレッキング8日目。遂に今回の山行の最高標高点のカラパタールへチャレンジする時が来た。5160mでの宿泊は、少し自信がなかったが、朝とても快調。カラパタール往復を含む長い行程となるため、宿に荷物をデポし、最低限の装備で少し早めに宿を出る。カラパタールへの登山道にはまだ日が当たっておらず、寒い。10月末の5000mだから当たり前か。空気が薄いためか、登山道はそんなに急ではないが、足が動かない。重い足を引き上げながらゆっくりと登る。途中日が差し、チベットセッケイ（雷鳥っぽい鳥）も顔を出しやる気が出る。

頂上は少し岩場で、その上にタルチェがたなびいている。(チベットセッケイ)

トレッカーが思い思いの方向を見て満足そうだ。我々も頂上に立ち、登ってきた方向を振り返る。足元には巨大な氷河が右から左へ上って行き、途中でまた右へ折れるとその向こうにエベレストが高く、大きくそびえている。遂にエベレストを間近に見ることができた。

景色を十分に眺め、写真を撮り下山にかかる。下りは本当に楽だ。直ぐにゴラクシェプの街に着く。夕焼けを見るために夕方カラパタールへ登る人がいたが、下りはあまり疲れないので、夜になっても大丈夫なんだと合点する。



ゴラクシェプからトゥクラまでは昨日登った道を淡々と下る。登りよりは楽だが、アップダウンがあり、疲れる。16:30 トウクラに到着し、一昨日と同じ宿をとる。

(間近にエベレスト)



(エベレストをバックに)



〈トゥクラ～プンギタンガ 3300m〉

トレッキング9日目。トゥクラからは登りと別ルートでペリチェ経由で下る。ペリチェまでのルートは緩やかな広い氷河溪谷の底を歩く。ペリチェ(4400m)は人の住んでいる感じがある街で、ヤクやゾッキョなどの家畜がたくさん草を食んでいる。小さな子供と思われるものもある。そのうち荷物を運ぶんだろなあ。頑張っってね。この辺りが本来人の住める限界標高か?と思われる。

さらに下って、パンボチェ付近。庭に、何やら広げた物を回収する人あり。多分家畜の糞を乾燥させて、燃料にするんだと思う。これまでもホテルのストーブで使ってた。匂いもないし、木も切らないしとても有効だと思う。川沿いは、紅葉が始まっている。冬に備えて燃料集めは大事なんだろうな。

尾根上の寺院の街テンボチェに向けては登りになる。行きの登りがつらかったのが、恐れていたが、意外とあっさり到着。少し休んで谷底のプンギタンガを目指す。クライマー感のある女性二人組に負けないよう頑張っって歩くとプンギタンガ着。谷間の景色が良い宿をとる。

プンギタンガはあまりトレッカーが泊まらないからなのか、夜、宿の食堂に地元の家が集まって、子供同士が遊んでたりする。見ていると、小さい(3歳くらい?)の子供も含めて、みんな英語を使って会話しながら遊んでいる。将来のことを考えての英語学習の一環ではないか?トレッキングルートの街は子供にしっかり英語を身に付けさせているんだなと感心する。

(ペリチェの近く 家畜がたくさんいる)



(家畜の糞を乾燥させる)



〈ブンギタンガ〜ナムチェバザール〉

トレッキング10日目。ナムチェでは温水シャワーを浴びたい。その一心で朝早くブンギタンガを発ち、行きに使ったホテルを目指す。この辺りからトレッキングルートがにぎやかになってきた。人が多く、ストーパーやタルチェも多い。ほどなくナムチェバザールに到着し、一番乗りでホテルに宿をとる。そしてお目当ての温水シャワーを堪能し、洗濯もした。

おなかが減ったので、日本人の方に進められたトモダチレストランでかつ丼を食べる。本当に日本の味でおいしかった。そろそろ手持ちの現金が少なくなってきたので、ATMで下ろそうとするが、なかなかうまくいかない。結局二人で4枚カードを試して、下ろせたのは1枚のみ。このあたり、今後へ向けて方法を考えておかないと困ったことになりそう。

〈ナムチェバザール〜ルクラ〉

トレッキング11日目。予定がキツキツなので、一気にルクラを目指す。航空会社のリコンファームのため、16:00にはルクラに到着しなければならない。朝から飛ばし気味に歩いた。が、下りのためか、標高が下がったからかあっさり13:40にルクラ着。空港のカウンターにほど近いところに宿をとり、落ち着く。その宿はクラフトビールのサーバー売りがあり、夜はビールでトレッキング終了を祝った。

〈トレッキング終了後〉

トレッキング中の天候があまりにもよかったので、行きの悲劇を忘れて、まさか飛行機が飛ばないとは思ってなかった。しかし、さすがはルクラ空港。帰りも飛行機が飛ばないとのこと。行きは予備日が豊富にあったので、何とかあったが、帰りは日本での仕事が待っている。予備日は1日。何としても帰らねば。

宿の主や行きのハイエースを手配してくれたエージェン트経由でヘリでのルクラからの脱出を探る。2日目はヘリも飛ばなかったが、3日目朝からヘリに乗ることができた。ただし、そのヘリはルクラからほど近いファブルの街までしか飛ばず、その先、カトマンズまではジープとのこと。ヘリは10分、ジープ（身動き取れない10人乗り）11時間で直接カトマンズ空港に20:00頃到着。しかし、帰国便はその日のお昼だったので、既に出発後。再び航空券を買いなおす。ここでもクレジットカードが使えず、先ほどのエージェン트에購入をお願いして何とかあった。今後に向けてクレジットカードについてはしっかり検討しとかないといけないなあ。

結局、ヘリ代、帰国便の買いなおしで膨大な出費。エベレスト街道恐るべし。トランジット時間の短い便が取れたので、帰国は予定よりも早まり、仕事には間に合った。

(ヘリでルクラを脱出)

(ジープは途中、パンク、白煙等トラブル多発)



〈分かった事〉

- ・ルクラへの飛行機は運休多し。すぐに別ルート（ジープやヘリ）、別目的地（アンナプルナ等）へ対応できるように計画段階から準備しておくべき。
- ・高度順応は慎重に。無理をするとやっぱり体にこたえる。
- ・トレッキングルートでは英語でのコミュニケーションが可能。いろんな人と会話できるように鍛えておきたい。
- ・5500m までは大丈夫だった。さらに高い標高を目指したい。
- ・6000m 級のアイランドピークやロブチェはふもとの街から 700 ドル程度で登頂可能
- ・クレジットカードが使えないこと多し。使える可能性の高いカードを複数枚もっておく事が必須。

